



ひろしま遊学の森 広島県緑化センターメールマガジン VOL.362 H30.6.13



6月3日の山の日のイベントでは天候にも恵まれ、多くの来園者で賑わいました。山の手入れでは、およそ40名がサクラの森の除伐を行いました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

さて、梅雨入りを迎え園内も夏の花が次々と咲き始めました。

★見どころ情報

チュウゴクボダイジュ（中国菩提樹）アオイ科シナノキ属（写真1左上）

「チュウゴク」は、国家の中国（China）ではなく、中国地方という意味で名づけられました。昭和45年、土師ダム（安芸高田市八千代町）の湖岸で発見され、新種とされました。（中国地方や大分県に稀に自生する近似種マンシュウボダイジュと同種とする考えもあります。）原木は県の天然記念物に指定されています。緑化センターには平成18年に国土交通省及び安芸高田市のご厚意により寄贈いただきました。花は6~7月、へら状の総苞葉の中ほどから下向きに花序を伸ばし、黄色い花を10~20個程咲かせます。この総苞葉はシナノキ属に見られる特徴です。また名前の「ボダイ（菩提）」とはサンスクリット語のボーディーの音写で「悟り」と訳されるため、ボダイジュは直訳すると「悟りの木」となります。仏陀が木の下で悟りを開いたといわれる木はクワ科のインドボダイジュで、現地ではボーディードルマと呼ばれます。

場所：多目的広場

ナツツバキ（夏椿）ツバキ科ナツツバキ属（写真1右上）

冷温帯に自生する落葉高木で、県内では北部に自生します。ヤブツバキと同じツバキ科で6月頃に白い花を咲かせます。個々の花の寿命は1日ですが、順次咲いていくので、1週間から10日間程は花を楽しめます。別名のシャラノキの名は、平家物語の冒頭「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり。沙羅双樹の花の色・・・」に登場する沙羅樹（2本なので双樹）に因みますが、仏陀入滅時の木とされる本物のシャラノキは本種ではなく、熱帯に自生するフタバガキ科の高木で、現地ではシャラと呼ばれます。

場所：多目的広場

クマノミズキ（熊野水木）ミズキ科サンシュユ属（写真1左下）

同属のミズキによく似ており、三重県熊野で発見されたためクマノの名がつけます。山地の林内に自生する落葉高木で、園内周辺の山林にも多く見られます。ミズキとは花の時期と葉の生え方が異なります。本種はミズキより1か月遅れの6~7月に枝先の花序に白い小さな花を咲かせます。葉はどちらも枝先に集まってつきますが、ミズキは互生で冬芽は赤い鱗芽になります。対して、クマノミズキは対生で冬芽は黒く尖った裸芽になります。

場所：東山作業路他

オオバイボタ（大葉水蠟）モクセイ科イボタノキ属（写真2左上）

沿岸地域の林縁等に自生する半常緑低木でイボタノキより葉が大きいことから名づけられました。塩害や大気汚染に強いいため、海岸や工場の緑化によく用いられます。6~7月、新枝の先に花序を伸ばし、白色の小さな花を多数咲かせます。同属で常緑樹のネズミモチ（写真2右上）やトウネズミモチに比べると葉は柔らかく、葉脈がはっきり見えるのが見分けのポイントで、とくに葉裏はこれら2種とは明確に異なります。江戸時代末期にアメリカに導入され、生垣でよく利用されています。

場所：車庫前（オオバイボタ）、各所（ネズミモチ）

この他、アジサイ科のイワガラミ (写真1) や、モチノキ科のクロガネモチ (写真2)、ナナミノキ (写真2)、キキョウ科のヒナギキョウ (写真3)、キキョウソウ (写真3)、ホタルブクロ (写真3)、またラン科で葉緑素を持たないツチアケビ (写真3) などの花が見られます。

★見頃状況まとめ

咲き始め	ナツツバキ (写真), キンシバイ, ムラサキシキブ, キョウチクトウ, イヌツゲ, カシワバアジサイ, アジサイ, ヤマアジサイ 他
見頃	チュウゴクボダイジュ (写真), イワガラミ (写真), オオバイボタ (写真), ネズミモチ (写真), クマノミズキ (写真), ヤマボウシ, クロガネモチ (写真), ナナミノキ (写真), ウメモドキ, テイカカズラ, リュウキュウマメガキ, ヒナギキョウ (写真), キキョウソウ (写真), ホタルブクロ (写真), ツチアケビ (写真), ニガナ, オニタビラコ, ジシバリ, ブタナ, クララ, コメツブツメクサ, モリアオガエル卵塊 他

園内の見どころ情報はツイッター及びインスタグラムでも確認できます。

メールマガジンよりも早くお知らせできることが多いのでぜひ下記 URL からご覧ください。

ツイッターアカウント名: @Ryokkacenter <https://twitter.com/ryokkacenter>

インスタグラムアカウント名: kanriryokka <https://www.instagram.com/kanriryokka/>

フォローよろしくお祈いします。



写真1左上 チュウゴクボダイジュ (多目的広場) H30.6.12



写真1右上 ナツツバキ (管理事務所前) H30.6.12



写真1左下 クマノミズキ (東山作業路) H30.6.12



写真1右下 イワガラミ (園路沿い) H30.6.12



写真2左上 オオバイボタ (車庫前) H30.6.12



写真2右上 ネズミモチ (見本園) H30.6.12



写真2左下 クロガネモチ (学習展示館下) H30.6.12



写真2右下 ナナミノキ (わんこひろば下) H30.6.12



写真3左上 ヒナギキョウ (見本園入口) H30.6.12



写真3右上 キキョウソウ (レストハウス前) H30.6.12



写真3左下 ホタルブクロ (管理事務所前) H30.6.12



写真3右下 ツチアケビ (樹木探勝園) H30.6.12